

■著者紹介

村上 弘 Hiroshi Murakami

立命館大学名誉教授・特別任用教授

1954年、京都市生まれ。京都大学法学部・大学院修了、法学博士。コンスタンツ大学、ケルン大学で研究。立命館大学法学部教授として、行政学・政治学・地方自治論などを担当。著書に『日本の地方自治と都市政策—ドイツ・スイスとの比較』、共編著に『よくわかる行政学』『大都市自治を問う』『大阪都構想Q&Aと資料』『京都市政—公共経営と政策研究』、分担執筆に『比較政治制度論』『神戸市史』『京都市政史』、論文に「道州制は巨大州の夢を見るか?」「公共性について」「強くない日本の市民社会」「政治学教育における目的、内容、方法」「日本の保守・リベラルと政党システム」「立憲民主党の役割と課題、維新の会のポピュリズムと強さ」「Democracy under Conservative Dominance in Japan」(in: The Crisis of Democracy? Chances, Risks and Challenges in Japan and Germany) など。